【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公表番号】特表2009-543518(P2009-543518A)
【公表日】平成21年12月3日(2009.12.3)
【年通号数】公開・登録公報2009-048
【出願番号】特願2009-519481(P2009-519481)
【国際特許分類】
*Ｈ０４Ｍ　3/42　(2006.01)*
*Ｈ０４Ｍ　3/00　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｍ　3/42　Ｚ
Ｈ０４Ｍ　3/00　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成22年4月2日(2010.4.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５１】
特に、ユーザ３１４又はサブユーザ６０１の何れか、もしくは両方に関連づけられるデータパケットからの情報は電子的なディスプレイ上でＡＳＰ３１６に表示されることが可能であり、ＡＳＰ３１６は、このデータパケット内に含まれるビジネス情報を用いて呼に応答（アンサ）できる。例えば、ＡＳＰ３１６は、ユーザ３１４及び／又はサブユーザ６０１に指定された方法で発呼者６１２からの呼に応答（アンサ）できる。ＡＳＰ３１６が呼に応答（アンサ）する方法は、ＡＳＰ３１６が呼を伴う信号に含まれる発呼者識別情報に基づいて、発呼者６１２の名前を使ってグリーティングすることを含んでもよい。ＡＳＰ３１６は発呼者リストを調べて、発呼者６１２が、ＡＳＰ３１６がユーザ３１４及び／又はサブユーザ６０１に常に直接的に接続を試行すべき発呼者であるか、ユーザ３１４及び／又はサブユーザ６０１に直接的に接続を試行してはならない発呼者であるか、通常の営業時間中にユーザ３１４及び／又はサブユーザ６０１に直接的に接続することを試行すべき発呼者であるかを決定できる。次に、ＡＳＰ３１６は、もし存在すれば、発呼者６１２に関してユーザ３１４及び／又はサブユーザ６０１によって提供された指示に従うことができる。発呼者６１２がユーザ３１４及び／又はサブユーザ６０１に直接的に接続されなければ、ＡＳＰ３１６は発呼者６１２へ、ユーザ３１４及び／又はサブユーザ６０１が発呼者６１２に提供されるべきものとして指示した任意の情報を提供することができ、又は、発呼者６１２からのメッセージにユーザ３１４及び／又はサブユーザ６０１によって指定された方法で情報を書き込むことができる。ＡＳＰ３１６は、発呼者６１２の識別、発呼者６１２に提供される任意の情報及び／又は発呼者６１２からのメッセージを含む呼に関する情報を、メッセージを通知される方法としてユーザ３１４及び／又はサブユーザ６０１が指示している希望の方法でユーザ３１４及び／又はサブユーザ６０１に提供できる。これにより又はこれに続いて、ＡＳＰ３１６はユーザ３１４及び／又はサブユーザ６０１に対して、提供されたアンサリングサービスの性質に依存して、かつユーザ３１４及び／又はサブユーザ６０１が指示しているアンサリングサービスに対する支払い方法としてユーザ３１４及び／又はサブユーザ６０１が望む方法で、呼に関する請求を行うことができる。ユーザ３１４及びそのサブユーザ６０１によって提供されるビジネス情報間に不一致が存在する限りにおいて、ＡＳＰ３１６に対して、ビジネス情報の性質に依存してユ

ーザ３１４又はサブユーザ６０１によって提供されるビジネス情報に基づいて不一致を解消し応答する（アンサする）ように指示できる。さらに、ＡＳＰ３１６によって表示されるビジネス情報は、ユーザ３１４及び／又はサブユーザ６０１の指示に依存して、呼がいつ受信されたかに依存してもよい。